



わんこがっばニュース

岩手県学童保育連絡協議会

2022年10月10日 No.1

第53回定期総会開く 新会長に阿部氏

岩手県学童保育連絡協議会の第53回定期総会はコロナウイルス感染防止のため書面で開催されました。書面による開催は3年連続。議事は書面表決され、21年度活動報告、決算報告は承認。22年度活動方針案、予算案は採択され、22年度役員が選出されました。

また、7月23日に行われた第1回役員会において、阿部勝氏（気仙連協・陸前高田市）が会長に選任されました。前会長の千田広幸氏は顧問に就任しました。

新役員は次のとおり。

会長 阿部 勝 (気仙)

副会長 酒井 浩文 (北上)

本宮 信也 (花巻)

檜見館 浩 (盛岡)

佐々木久留美 (滝沢)

菰山 純子 (久慈)

事務局長 宮井 徳子 (盛岡)

事務局次長 門田 弘之 (滝沢)

会計 橋本 有紀 (盛岡)

事務局員

嘉村 祐之 (盛岡)

吉田 康治 (盛岡)

主濱 洋 (盛岡)

中村 由可子 (盛岡)

武田 恵実 (滝沢)

小松 紀幸 (花巻)

古川 晴一 (花巻)

武藤 一弘 (北上)

小納 恵理子 (北上)

齊藤 真由美 (北上)

関畑 千春 (久慈)

清水 海里 (久慈)

志田 俊一 (気仙)

岡澤 紹子 (気仙)

比内 沙耶火 (気仙)

会計監査

永洞 麻衣 (盛岡)

水本 真美 (滝沢)

顧問

千田 広幸 (滝沢)

県指導員学校・保護者研修会を開催

県連協主催の第50回指導員学校と第2回保護者研修会は8月28日にオンラインで開催されました。

午前に行われた保護者研修会には177人が参加。千葉大学教育学部の鈴木隆司教授が「子どもたちのあそびと生活」と題して講演を行いました。

千葉大学付属小学校の校長でもある鈴木教授は、校長として毎朝校門に立ち「おはよう」のあいさつをしており、子どもたちは①自分からあいさつする子②あいさつを返す子③無視する子—がいることを紹介。あいさつひとつで、子どもの生活の文脈が見えてくると言い、「生活が子どもにとって意味のある流れになっているかが大切」と述べました。



午後に行われた指導員学校には120人が参加。埼玉県飯能市の河野伸枝指導員が「コロナ禍、改めて学童保育の生活で大切にしたいこと」と題して講演。

河野指導員はコロナ禍での社会も変化により、大人の不安のしわ寄せは子どもたちに向けられていると指摘。学童保育での生活も大きく様変わりするなか、感染防止しながらも、子どもたち豊かに育つため必要なことを考えた時、「改めて『基準』や『運営指針』に立ち返ることになった」と述べ、「迷ったら、原点に立ち返り、支柱にしていこう」と参加者に語りかけました。

指導員に求められることとして、「目の前の子どもに、保護者に、指導員仲間に学ぶことの歩みを止めない」と語り、「指導員は人と人とをつなぐ仕事、子どもの未来、幸せをつくる仕事。その自覚を持って共に歩んでいこう」と呼びかけました。